

佐渡金銀山の世界遺産登録の早期実現に関する決議

「佐渡島の金山」は、徳川幕府の管理・運営の下、伝統的手工業により大規模かつ長期にわたる発展を遂げ、世界に誇る質・量の金を生産した欧州とは異なる金生産システムを示す、稀有な産業遺産である。

これまで、佐渡金銀山は国内推薦に至らなかったが、国文化審議会からは「次の有力な候補になり得る」との異例の評価を受けている。新潟県と佐渡市では、国から示された課題に対応した推薦書原案に修正するとともに、資産の保存・活用や受入体制の整備など、関係機関が具体的な事業に取り組んでいる。

この取組を支援するため、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議でも約 1,500 もの会員団体が、県内外で登録実現に向けた様々な活動を展開している。

佐渡金銀山の世界遺産登録は新潟県の悲願であり、一昨年から実施している署名活動には 50 万筆を超える署名が寄せられるなど、多くの人々が心待ちにしている。

よって、本県民会議は、登録実現に向けて国からの早期の推薦を強く求めるものである。

また、会員が一致協力して、佐渡金銀山の価値の周知や将来の世代へ引き継ぐ保全活動に一層取り組むことを宣言する。

以上、決議する。

令和 3 年 5 月 30 日

佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議